

第 57 回東葛しぜん観察会

田んぼの貴婦人 タゲリを探そう

北山 繁 (松戸市)

日 時：20109 年 2 月 7 日(日) 天気：晴 強風

場 所：利根運河 新川耕地 (流山市)

参加者：一般 31 名 指導員 21 名 合計 52 名

担当指導員：北山 繁 蔵 正雄 鈴木俊二

利根川と江戸川を結ぶ利根運河は明治時代に開削され、東北や北海道からの物資を船で運んでいました。現在は、ゆるやかな曲線を描く運河の水辺と谷津や台地の緑で織り成す自然の多様さと美しさのある「利根運河エコミュージアム」です。江戸川との合流点に新川耕地が大きく広がっており、「タゲリの田んぼ」とも呼ばれ、タゲリやケリがたくさん見られるところです。

タゲリは、ハトと同じくらいの大きさのチドリ科で冬鳥。シベリアや中国東北部などで繁殖し、越冬のため 10 月末から 11 月初旬になると飛来します。警戒心が強い鳥で、観察が難しいですが、美しい羽と頭の長い冠羽が特徴で、その優雅な姿から「田んぼの貴婦人」と呼ばれています。今回は強風のため飛び立つところを見られただけでした。運河では、カルガモ・ヒドリガモ・コガモなどのカモ類・コサギ・アオサギ・イソシギなどが見られ、カワセミが川面を飛び去っていくのを見られました。ラッキー！

観察ルート：

利根運河左岸堤防下遊歩道を探鳥～におどり公園～新川耕地(お目当てのタゲリが飛び立つところを双眼鏡や望遠鏡で見られた)～20mを超す強風のため探鳥には不適当と判断し、午後の予定は中止とし、におどり公園に戻り解散。

指導員は利根運河交流館のご好意で、お部屋での昼食とふりかえりをやりました。

参加者の感想：

タゲリが飛んでいる姿が見られてよかったです。写真で見るときれいな鳥ですね。

ヒドリガモなど渡り鳥のカモ類がたくさん見られて感動した。

カモの種類が見分けられて、雄と雌の違いがあって面白かったです。

初参加でしたが、鳥や植物の詳しい説明があって良く分かった。

川柳が出来ました(きみちゃん)「タゲリどこ 鼻水すすり 風分ける」

